**ハンドマイク街頭演説原稿例　二〇二一年、新しい日本をつくる年に**

二〇二〇年十二月二十八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、新年おめでとうございます。日本共産党です。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策をうったえさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　昨年九月にスタートした菅政権ですが、発足から三カ月で支持率がいっきに急落しました。日本学術会議への人事介入に見られるような、安倍前政権以上の強権政治ぶり、そして新型コロナウイルスの感染拡大に対する、あまりの無為無策ぶりに、「期待はずれだ」「もう任せられない」と感じておられる方も多いのではないでしょうか。菅政権はそのうえ、高齢者の医療費窓口負担の大幅引き上げをめざすなど、国民の苦しい生活実態に目を向けようとしません。こんな冷酷な政治を、これ以上続けさせていいのでしょうか。

　今年十月に衆議院議員の任期が切れるため、今年中に必ず衆議院の総選挙が行われます。この総選挙で野党共闘による政権交代を実現し、新しい政治をつくろうではありませんか。野党共闘の実現に全力で取り組んでいる日本共産党への、大きなご支援をよろしくお願いいたします。

　みなさん、日本共産党は菅自公政権を終らせて、新しい日本をつくるための「五つの提案」をお示ししています。一つは、ケアに手厚い社会や人間らしい雇用のルールづくりなど、自公政権の新自由主義から転換し、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治をつくることです。二つは、憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復することです。三つは、アメリカいいなりの沖縄新基地建設をちゅうしするなど、覇権主義への従属・屈従外交から抜け出して、核兵器禁止条約に参加するなど、自主・自立の平和外交に転換することです。四つは、地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくることです。五つは、ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治をつくることです。

　これらの「五つの提案」は、いずれも多くのみなさんが望む方向といっしょだと考えていますが、いかがでしょうか。そして、これらの内容の多くは野党の間で意見が一致しており、すでに国会に法案を共同提出したものもあります。政権が変われば、実現できるものばかりです。日本共産党は、市民と野党の共闘の力で、こんな新しい日本をつくるため、知恵と力をつくす決意です。日本共産党への大きなご支援を、よろしくお願いいたします。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をご紹介します。安倍前首相の「桜を見る会」をめぐる問題や、日本学術会議の任命拒否問題を最初に報道したのは、「しんぶん赤旗」でした。いくつもの新聞で「『赤旗』スクープ連発」という記事が掲載されるなど、広く注目をいただいております。この「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いしまして、この場所をお借りしてのうったえを終わります。ご協力ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（了）